

2021年11月15日

調査室

今週の株式相場見通し

* 日経平均 28,600~30,000円 TOPIX 1,960~2,060
 * 期待材料 半導体などの供給正常化 経済対策 中国の規制・統制強化政策緩和 新型コロナ治療薬
 * 不安材料 ベトナムの新型コロナ感染者数の再拡大 インフレの加速

7-9月期決算の発表前には、4-6月期決算発表時点で想定していなかった懸念材料が多発していたため、業績の低迷や通期業績の下方修正懸念が高かった。具体的には、東南アジアのロックダウンに伴う半導体やワイヤーハーネスなどを筆頭とした幅広い部材、製品の供給制約、トヨタの複数回にわたる減産の発表、コンテナ船の市況高騰及びコンテナスペース確保難、さらに原油、銅、レアメタルなどの原材料高による業績圧迫懸念であった。しかしながら、ここまで発表された決算は、投資先企業の株価大幅下落の影響を受けたソフトバンク G、コロナ禍の影響が長期化する鉄道や空運業などの業績悪化はあったが、製造業、海運業そして資源権益関連企業などを中心に想定以上に堅調あるいは好調と評価できる内容であり、筆者としてはポジティブな印象を持っている。日本経済新聞社(以下、日経)がソフトバンク G に対する強気の業績予想を下方修正した影響で、日経平均の今期予想 EPS は日経予想(ほぼ会社予想を採用している)では決算発表シーズン前後で横ばい圏の2,045円程度に留まっている。一方で、アナリストの予想平均で QUICK が集計するコンセンサスから算出する日経平均の予想 EPS については増加トレンドをたどっており、今期予想で2,130円程度、来期予想で2,260円程度となっている。近年の日経平均の予想 PER の平均値14.5倍程度を参考として試算すると、日経の予想 EPS 2,045円では29,650円程度、コンセンサス予想 EPS 2,130円なら30,900円程度となり、今の29,000円台後半の株価はほぼ妥当圏との評価になるものと思われる。当面の株式市場では、指数全体よりも、1-3月期及び来期を見据えて好業績が期待される企業の個別株物色の動きが強まる展開を想定する。このような観点において、注目に値する業種の一つとして自動車株を上げたい。7-9月期決算は、サプライチェーン問題の影響を大きく受けるなかで総じて事前の想定より健闘した。最大の問題となっていた半導体の供給難は、来年に向けて徐々に緩和する見込みであり、来期については業績の大幅回復が期待される。(11月12日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
11/15 (月)	7-9月期 GDP 速報値(8:50) 決算：三菱 UFJFG など	[中]10月小売売上高(11:00) [中]10月鉱工業生産(11:00)
16(火)	9月第三次産業活動指数(13:30) 日本ウイルス学会(~18日)	[米]10月小売売上高(22:30) [米]10月鉱工業生産(23:15)
17(水)	9月機械受注(8:50) 10月貿易統計(8:50) 10月訪日外国人数	[欧]10月消費者物価指数(19:00) [米]10月住宅着工件数(22:30) [米]ロサンゼルス自動車ショー(~28日)
18(木)	GRCS(9250)東証マザーズ新規上場	[トルコ]中央銀行 政策金利(20:00)
19(金)	10月全国消費者物価指数(8:30) AB&Company(9251)東証マザーズ新規上場 決算：MS&ADHD、SOMPOHD、東京海上HD	[印]休場 [英]11月GFK消費者信頼感調査(9:01) [独]10月生産者物価指数(16:00)
20(土)	プロ野球・日本シリーズ開幕	世界こどもの日
21(日)	競馬マイルチャンピオンシップ	[チリ]大統領選挙

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 早稲アカ (4718) 東証1部



20年3月期 (百万円)		前年比	21年3月期 (百万円)		前年比	22年3月期(予) (百万円)		前年比	株価(11/11)	1,031 円
売上収益	24,611	3.3%	25,453	3.4%	28,370	11.5%	時価総額	196 億円		
営業利益	1,169	-23.4%	1,064	-9.0%	1,591	49.5%	PER(予想)	21.00 倍		
経常利益	1,162	-24.4%	1,077	-7.3%	1,587	47.3%	PBR(実績)	1.74 倍		
当期純利益	772	-16.5%	529	-31.5%	925	75.0%	ROE(実績)	5.50 %		
EPS(円)	48.76		33.13		49.09		配当利回り(予想)	2.13 %		
配当金(円)	20		20		22		担当	志田 憲太郎		

出所:業績に関する数値は決算短信より

2001年に早慶付属高校の合格者数1位を達成、以降も1位を維持。2008年には首都圏私立最難関高校と言われる開成高校への合格者数1位を達成するなど、難関中学・高校・大学への合格実績を伸ばし続けることで、進学塾としてブランド力を形成。塾生数を増加させ収益を拡大している。22年3月期の期初に発表した今期予想生徒数は小学部24,216名、中学部16,172名、高校部2,712名と中学受験、高校受験に焦点を合わせている。中学受験において21年度は御三家と言われる開成・麻布・武蔵合計で448名、早慶495名、高校受験では早慶1,748名、開成111名と高い合格実績を裏付けに、口コミによる集客で広告宣伝費が抑制され利益率を高めている。

22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比14.8%増収の137億円、営業利益は2.8倍の9.2億円、最終利益は5.9倍の5.7億円だった。通期見通しの変更はなかったが、中間配当を2円増加し7円としたことで通期22円の配当とした。上期の収益に大きく影響する夏期講習会には前期比31%増で過去最高の4,974名の新入・一般生となり、夏期合宿の代替である夏期集中特訓には総勢13,500名を超える生徒の参加となった。4-9月の期中平均塾生は42,083名となり前年同期比13.1%増加、コロナ前の38,527名を上回った。通期計画は9月に上方修正したまま据え置いたが、中期経営計画における23年3月期目標を1年前倒しで達成する見込み。新規開設した3校について、豊洲校は開校時塾生において当塾過去最高を更新し、2号館新設を計画。品川校もほぼ定員、個別進学館豊洲校も「個別進学館」としては、最速で塾生数100名に到達した。塾生数は毎年、期初から月を追うごとに増加する傾向にある。20年4月よりオンライン授業も開始し、今後は地方都市からの集客や利益率改善が期待される。下期はさらに2校開設を予定しており、前倒し達成した中期経営計画の更新、好調な集客力を背景とした下期上振れに期待したい。(志田 憲太郎)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(11/11)	コメント
ダイキン (6367) 東証1部 25,385円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比17.3%増収、8.2%営業増益、1Q(4-6月)比では4.9%減収、23.6%営業減益。原材料高、半導体不足などの向かい風の中、売価アップ、コストダウン、半導体の先行的な確保による各地域での拡販によって上期として過去最高の売上高、営業利益で着地。上期が上振れ着地となったことで通期計画を今期2度目の上方修正。通期では17.5%増収(従来予想12.7%増収)、25.7%営業増益(同21.5%増益)を計画。(多功 毅)
日立製作所 (6501) 東証1部 7,109円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は28.5%増収、71.5%営業増益。自動車部品が苦戦したが送変電、鉄道などの環境関連、IT分野、中国のビル事業、半導体製造装置、建機などが堅調に推移。AI、データアナリティクス、セキュリティ、IoT関連などがけん引し、ITセグメントは上期の過去最高益を更新。部材不足により自動車部品事業が苦戦しており、通期の利益計画を小幅下方修正したが、下期もIT、環境関連中心に業績は堅調に推移するものと思われる。(松本 直志)
アドバンテスト (6857) 東証1部 10,000円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比17.4%増収、22.2%営業増益、受注は3.2倍の2,038億円に拡大。スマートフォンのプロセッサや高性能コンピュータ用など、最先端半導体向けテストの需要が好調に推移。受注は好調だが部材不足の影響で、通期の上方修正幅は小幅にとどめている。半導体の高性能化が進むなか、今後のテスト能力拡張の必要性が高まり、顧客の設備投資意欲が一段と向上しており、22年もテスト需要の拡大が見込まれる。(松本 直志)
カシオ計算機 (6952) 東証1部 1,600円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比21.2%増収、営業利益は2.9倍、68.6%最終増益。部材の供給難による生産への影響と8月の中国の洪水、日本は緊急事態宣言下という厳しい環境の中、アメリカ、ヨーロッパで健闘し上期の計画を上振れ着地となった。ただ、年末商戦のタイミングで生産に下振れリスクがあるため、上期上振れ分は乗せずに通期計画を据え置いた。新たな減産などが発生しなければ、上乘せしなかった分は、そのまま据え置かれた通期の上振れ分となる。また、高需要による下期の上振れにも期待したい。(志田 憲太郎)
トヨタ (7203) 東証1部 2,030.0円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比11.4%増収、48.2%営業増益、1Q比で4.9%減収、24.8%営業減益。2Qにかけては資材費高騰、想定外の減産によって売上、利益が落ち込んだ。通期については減産に伴う販売減を織り込む一方、円安効果によって10.2%増収計画を据え置いたうえで、営業利益は27.4%増益(従来予想13.8%増益)に上方修正。円安効果を除けば、資材費高騰、減産で実質下方修正であると説明しているが、厳しい環境下で健闘と評価したい。(多功 毅)
オリンパス (7733) 東証1部 2,619.0円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比30.5%増収、営業利益は2.5倍、最終利益は624億円の黒字転換だった。上期として営業利益は率、額ともに過去最高を更新した。下期は上期の実績を踏まえ上方修正。通期で売上はコロナ前の20年3月期を超える水準、営業利益は過去最高を見込む。内視鏡、治療機器が過去最高の成長でけん引する。また、今期分については部材の調達は問題ないとした。来期には北米で新型内視鏡「EVIS X1」の発売を目指す。(志田 憲太郎)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室